

かゑらじと かねて思へハ 梓弓  
 なき数に入る 名をぞとどむる  
 四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第155号

令和4年12月13日

発行＝四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

アンケートの回答で、参加した子どもたちも絶賛

とても楽しかった。作りがとてもすごいな、と思った

＝ 大阪電気通信大学との産学連携事業、ゲーム&グッズ制作 速報② ＝

### 43歳／一つの遊び・歴史が背景にある

12月4日(日)に開催しました市民ゲーム大会・通信154号の続報です。

今回、成果品として完成し贈呈を受けたゲーム・グッズは以下のとおりです。

### ゲーム

#### ① 四條畷の戦い -シミュレーション-

##### 四條畷の戦い -シミュレーション-

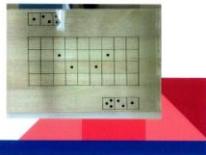
ジャンル: ボードゲーム

簡単な説明: 将棋を模した正行軍と幕府軍のシミュレーションゲーム

難易度: ★★★

対戦人数: 2人

プレイ時間: 10~20分程度



#### ② 楠遊戯蒐集帖



チーム3

ジャンル: スマホで遊べる5つのミニゲーム

簡単なものから難しいものまで様々なゲームをスマホ/タブレットで楽しむことができます

プレイ時間: 30秒~5分

ミニゲーム詳細



楠正行に関するクイズゲーム。  
難易度は3段階から選べる。  
難易度★~★★★★



流れてくる武将を  
タップして救うゲーム  
難易度★



全5問の間違った探し。  
難易度高め。  
難易度★★★★



武将を記憶して当てる  
記憶力ゲーム。  
難易度★★



矢を避けてゴールを目指す  
2D横スクロールアクション。  
難易度★★

#### ③ 「楠正行 - 絵札ノ戦」

##### 『楠正行 - 絵札ノ戦』

1人でも!  
2人でも!

ジャンル: カードゲーム

プレイ時間: 10分程度

難易度: ★★★ 難しい!



1人でも楽しむことができるカードゲームです。

3種類のデッキから1つを選び、様々な効果の絵札を駆使して

強大な敵軍に勝利することが目的となります。

さらに、対等な条件で2人での対戦プレイも可能です。

#### ④ 四條畷陣取り合戦

##### 「四條畷陣取り合戦」 チーム9班

ジャンル: 地域密着型ボードゲーム

四條畷市の一部を模したマップを使用し、陣取り合戦を行うゲーム。  
サイコロを振って、出た目に応じてコマを陣地へ送る。  
コマの数を陣地ごとに競い、最終的に取った陣地の点数が多かった方が勝ち。

難易度



想定プレイ人数: 2人

想定プレイ時間: 10-15分



#### ⑤ 敵兵を救え!

##### 敵兵を救え!

難易度: ★★★☆

プレイ時間: 15分\*

プレイ人数: 2人

ジャンル: ボードゲーム

ルール

山札からめくったカードに書かれた数?白駒を設置する!  
\*自駒で黒駒の回数を同じヒート  
ゲーム終了時に一番点数が多い人が勝利!



これらのゲームについて、今後、一般貸出等検討します。これらゲームに関心のある方・興味のある方は四條畷楠正行の会・扇谷(携帯 090-3034-8288)までご一報ください。

⑥ ～正行物語～



⑦ 正行トランプ



が京都回復を目指してこの住吉から男山に入る時期、津守国夏が創建した住之江殿、別名正印殿で、創建当時は東西約100間、南北68間という広大な敷地に南面して建ち、庭園には紀伊和歌の浦から運ばれた大小の泉石を布置する優雅な建物でした。

現在は、25メートル四方ほどの地に、『後村上天皇 住吉行宮正印殿址』の石標が建っています。

現在、天満橋駅近くの八軒屋浜・道の駅横に立つ「小楠公義戦の碑跡碑」は、楠正行が、正平2年11月、住吉天王寺の戦いで敵兵を追い詰め、大川に溺れる敵兵を救ったという“渡辺橋の美談”として語り継がれている場所に立っています。

日本赤十字社創立後、日本は野蛮な国と、なかなか国際赤十字への加盟が認められませんでした。が、正行の渡辺橋の美談を紹介することで、会場板万雷の拍手を受けて、国際赤十字入りが認められたとの逸話が残っています。

吉野ユネスコ協会の一行ほぼ全員が、この2か所を訪れるのは初めてと、大変感激していただきました。

扇谷は、渡辺橋でお別れしましたが、一行はこの後湊川神社を訪れ、正式参拝後、宝物館や大楠公殉節地、嗚呼忠臣楠子の墓を見学、説明を受け、帰途につかれました。

**大石吉之進の会（豊岡市）と交流**

**大石内蔵助の次男を顕彰する会**

11月26日（土）、四條畷市立教育文化センターで、扇谷は、産経新聞社安本寿久特別記者の仲立ち・出席の下で、大石吉之進の会代表の渡辺信和氏、京都世話人物部雄次氏と面談、交流を図りました。

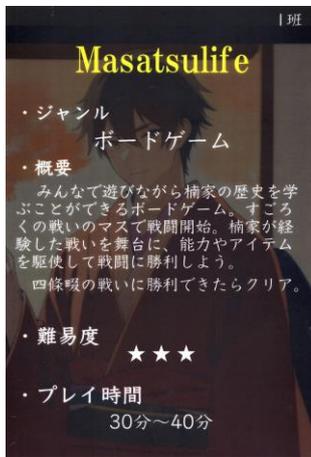
大石吉之進の会は、忠臣蔵で知られる大石内蔵助の次男・吉之進を顕彰する会で、荒廃が進む吉之進の墓を改修し、11月19日には地元豊岡市で「第1回大石吉之進まつり」を開催し、朗読劇や講談の鑑賞後、大石家の屋敷跡めぐりを実施されました。

江戸初期には多くの儒学者の楠正成物が流行し、楠氏は忠臣の模範として定着、そこに重なるように赤穂義士論を説く儒学者が多く居ました。足利家高家筆頭の吉良上野介をやっつけた大石内蔵助は、楠正成の再来とする書画等がもてはやされました。

今回の交流は、共に、武士道を貫き通して生きた正成と内蔵助、そして、同じく史料の乏しい二人の子ども、正行と吉之進を顕彰するという関係から、今後、交流の促進を図ることを申し合わせました。

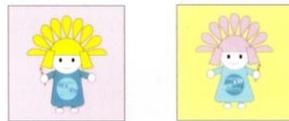
(文責：四條畷楠正行の会代表 扇谷昭)

⑧ Masatsulife

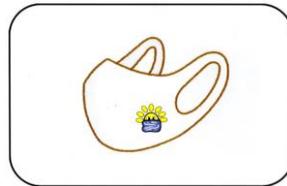


**グッズ**

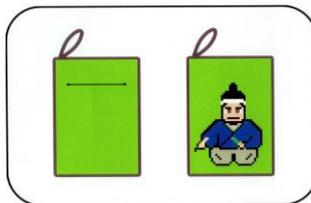
1) シール



2) マスク



3) パスケース



4) トートバック



**四條畷楠の会インフォメーション**

**扇谷、吉野ユネスコ協会・国内研修を案内**

**住吉大社・正印殿址と渡辺橋**

11月25日（金）、吉野ユネスコ協会一行が国内研修として、住吉大社、渡辺橋古戦場、湊川神社を訪れました。

この日、扇谷は住吉大社で待ち合わせ、合流し、吉野朝行在所・正院殿址と天満橋の渡辺橋古戦場・小楠公義戦の跡碑を案内しました。

後村上天皇は吉野、賀名生、天野そして住吉の4か所の行在所で過ごされました。住吉行在所は、後村上天皇